

e-Parcel®

VCN-AX

操作マニュアル 2

e-Parcel VCN-AX ver. 2.0.2014 for Windows

管理コンソール&設定 編



December, 2012

イーパーセル株式会社

目 次



e-Parcel VCN-AX ご利用開始までの流れ..... P 2

1 . VCN-AX 管理コンソール..... P 4

 1-1. VCN-AX 管理コンソール概要..... P 4

 1-2. VCN-AX 管理コンソール画面..... P 5

 VCN-AX 管理コンソール へのアクセス方法.. P 5

 VCN-AX 管理コンソール メニュー..... P 6

2 . システム設定..... P 7

 2-1. ホットフォルダのセットアップ..... P 7

 2-2. 自動受信のセットアップ..... P 12

 2-3. 初期設定の変更..... P 17

 2-4. システムログ..... P 23

3 . VCN-AX サービス開始..... P 24

 3-1. サービス再起動..... P 24

 3-2. データ送受信動作の解説..... P 25

4 . 受信トレイ..... P 28

5 . 送信トレイ..... P 31

6 . 認証情報..... P 36

7 . オプション設定..... P 38



e-Parcel VCN-AX 手動送信プログラム

8 . 送信ダイアログ..... P 40

e-Parcel VCN-AX Ver2.0.2008(2008.4.1 リリース)より、コマンドラインツールとしてこれまでの「vcnsend.exe」「vcntrack.exe」に代わり、マルチプラットフォーム対応で機能拡張された「axclient.exe」が搭載されるようになりました。(※詳細につきましては、『e-Parcel VCN-AX コマンドライン仕様書』を参照ください。)

[e-Parcel VCN-AX ご利用開始までの流れ]

お客様のユーザ ID 登録が完了後、イーパセル(株)より登録完了通知Eメールを送信いたします。



●…必須 ○…任意

ソフトウェアのインストール 参照: 『e-Parcel VCN-AX 操作マニュアル1 インストール編』

1. ソフトウェアのダウンロード マニュアル1
P6

2. ソフトウェアのインストール マニュアル1
P8
*『e-parcel 自動設定ガイド』が起動され、電子証明書・ネットワークを自動設定しログインまで自動で行われます。

*『e-parcel 設定ガイド』を起動し詳細設定をする場合は下記を参照し設定してください。
マニュアル1
『e-Parcel 設定ガイド』 P12

- ・設定ガイド起動方法 P12.
- ・電子証明書の設定 P14
- ・ネットワーク設定とログイン P14
- ・オプション設定の変更 P18

本マニュアル

送受信情報の設定 参照: 『e-Parcel VCN-AX 操作マニュアル2 管理コンソール&設定編』

データ送受信を自動化するための
ホットフォルダ情報(FolderConfig.csv)・自動受信情報(ReceiveAuto.csv)の設定(必須)
管理コンソール メニュー マニュアル2

3. ホットフォルダのセットアップ システム設定>ホットフォルダ P7

4. 自動受信情報のセットアップ システム設定>自動受信 P12

e-Parcel VCN-AX システム設定(vcnax.ini)の変更 (任意)
管理コンソール メニュー マニュアル2

5. 初期設定の変更 システム設定>初期設定 P17

ここでデータ送受信のための設定が完了しました。
動作確認後、e-Parcel VCN-AX にてデータ送受信が開始できます！

6. e-Parcel VCN-AX サービス再起動 マニュアル2 P24



e-Parcel電子宅配便サービス ご利用スタート！！
参照: e-Parcel VCN-AX でのデータ送受信動作の解説 マニュアル2 P25

[e-Parcel VCN-AX その他設定・変更・照会操作]

本マニュアル

参照: 『e-Parcel VCN-AX 操作マニュアル2 管理コンソール&設定編』

『管理コンソール』アクセス方法

『管理コンソール』へのアクセス方法

[マニュアル2](#)

P5

送受信履歴・ログの参照

送受信アイテム履歴参照

*参考: P34 送受信ステータスコード一覧

送受信アイテムの優先順位変更

再送信・配送キャンセル操作

システムログ参照

管理コンソール メニュー

受信トレイ・送信トレイ

送信トレイ

システム設定>システムログ

[マニュアル2](#)

P28・P31

P33

P23

ユーザ認証情報

電子証明書のプロパティ参照*

ログイン*・新パスワードの認証*

(注)パスワードを Web サイト「VCN ログイン」ページにて変更した場合に必須操作

管理コンソール メニュー

認証情報

認証情報

[マニュアル2](#)

P36

P37

*設定ガイドと管理コンソールのどちらからでも操作が可能です。

ネットワーク・オプション設定

オプション設定*

ネットワーク設定*

管理コンソール メニュー

オプション設定

オプション設定

[マニュアル2](#)

P38

P38

*設定ガイドと管理コンソールのどちらからでも操作が可能です。

送信ダイアログ起動による手動送信機能

送信ダイアログ (axsend.exe)

[マニュアル2](#)

P40

参照: 『e-Parcel VCN-AX 操作マニュアル1 インストール編』

『設定ガイド』詳細設定

『設定ガイド』の起動方法

電子証明書のプロパティ参照*と設定

ネットワーク設定*

ログイン*・新パスワードの認証*

(注)パスワードを Web サイト「VCN ログイン」ページにて変更した場合に必須操作

オプション設定*

[マニュアル1](#)

P12

P14

P14

P16

P18

*設定ガイドと管理コンソールのどちらからでも操作が可能です。

e-Parcel VCN -AX アンインストール

ソフトウェア アンインストール(削除)・再インストール方法

[マニュアル1](#)

P20

オプション機能(各種 API 仕様書)

コマンドラインツール(axclient.exe)につきましては、『e-Parcel VCN-AX コマンドライン仕様書』を参照ください。Web 2.0 タイプ(HTTP・HTTPS ベース)による API を使用した開発をご要望のお客様は、別途仕様書をご提供させていただきます。弊社営業またはカスタマーサポート(support@e-parcel.co.jp)までお問合せください。

ユーザ登録情報照会・パスワード変更・パスワード忘れた方

弊社 Web サイト URL: <http://www.e-parcel.co.jp/> より「VCN ログイン」ページへアクセスし「User Login-My VCN」および「パスワードリクエスト」ページにて操作を行ってください。



VCN-AX 管理コンソール&設定概要

本マニュアル『e-Parcel VCN-AX 操作マニュアル2 管理コンソール&設定編』は、別冊『e-Parcel VCN-AX 操作マニュアル1 インストール編』に引き続き、e-Parcel VCN-AX を導入されるお客様を対象に、実際にデータ送受信の運用を開始するための送受信情報の設定など管理コンソールでの操作方法およびその他の機能についてご説明したものです。e-Parcel VCN-AX ソフトウェアのインストール完了後、本マニュアルを活用いただき設定を行ってください。

e-Parcel VCN-AX では、インストール完了後、実際のデータ送受信を自動化するための準備として、あらかじめホットフォルダ(自動送信機能)・自動受信機能が動作するように送受信情報設定(ホットフォルダ・自動受信エントリーのセットアップ)をしていただく必要があります(必須)。また、必要に応じて e-Parcel VCN-AX の動作を、お客様の運用に適合するようシステム初期設定の変更を行っていただきます。(任意)

VCN-AX 管理コンソール

このような設定を行っていただくためのツールとして、e-Parcel VCN-AX では、HTTP ベースのインターフェイス『[VCN-AX 管理コンソール](#)』(VCN-AX2.0 Management Console)をご提供しております。

上記システム初期設定の変更を行う場合、こちらへアクセスいただき、『[システム設定](#)』メニューより操作を行います。また、『[VCN-AX 管理コンソール](#)』では、『[送信トレイ](#)』・『[受信トレイ](#)』にて送受信履歴照会ができるだけでなく、トラッキング・配送キャンセル・再送信・送受信の優先順位変更などを、サービスを停止させることなく各種システム管理操作を行うことが可能となっております。『[認証情報](#)』・『[オプション設定](#)』メニューでは、インストール時に『[e-Parcel 設定ガイド](#)』にて自動設定された項目の確認・変更操作を行うこともできます。



送信ダイアログ

また、e-Parcel VCN-AX では、ホットフォルダによるデータ自動送信機能の他に、e-Parcel VCN-AX と組み合わせてファイル・フォルダを手動で e-Parcel 送信できるプログラム(axsend.exe)を搭載しております。GUI をもつ[送信ダイアログ](#)を起動し、手動でデータを送信することも可能です。

豊富な機能を持つ e-Parcel VCN-AX のサービスを快適にご利用いただくため、本マニュアルを是非ご利用いただきますようお願い申し上げます。





VCN-AX 管理コンソール画面

e-Parcel VCN-AX のインストールが完了した時点で、Windows サービスは自動的に起動されます。その後、「VCN-AX 管理コンソール」(VCN-AX2.0 Management Console)へアクセスいただき、ホットフォルダ送信情報(FolderConfig.csv)、自動受信情報(ReceiveAuto.csv)のセットアップ(必須)を行います。また、必要に応じ動作設定(vcnax.ini)の変更(任意)を行います。

VCN-AX 管理コンソールへのアクセス方法

	<p>ご注意：『VCN-AX 管理コンソール』へアクセスするためには、e-Parcel VCN-AX のサービスが起動されている必要があります。インストールが完了した時点でサービスが起動されますが、一旦停止された場合は、サービスを再起動してください。</p>
	<p>ご注意：リモート PC から『VCN-AX 管理コンソール』へアクセスするためには、別途、Windows ファイアウォール等で TCP/9980 ポートへのアクセス許可設定が必要となる場合があります。リモートアクセス許可・ポートを変更する場合は、2-3. システム設定 - 初期設定の変更 P20⑥RemoteAccess・⑧ListenPort を参照ください。</p>
	<p>ご注意：LAN にプロキシサーバを使用されている場合、『VCN-AX 管理コンソール』へアクセスするためには、お客様ご利用の IE にて、「ローカルアドレスにはプロキシサーバを使用しない」よう設定されている必要があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①Internet Explorer「ツール」メニュー>「インターネットオプション(O)」>「接続」タブ>「ローカルエリアネットワーク(LAN)の設定」の[LAN の設定(L)]ボタンをクリックする。 ②「ローカルエリアネットワーク(LAN)の設定」ダイアログボックスにて、「プロキシサーバ」セクションの「ローカルアドレスにはプロキシサーバを使用しない(B)」にチェックが入っているか確認する。入っていない場合はチェックする。

『VCN-AX 管理コンソール』へは、下記3通りの方法にてアクセス可能です。

<アクセス方法1:ショートカットから>

インストール完了後に、『VCN-AX 管理コンソール』のショートカットアイコンがデスクトップに作成されます。ダブルクリックしアクセスしてください。



<アクセス方法2:タスクトレイから>

または、Windows タスクトレイのイーパーセルアイコンをダブルクリックする、または右クリックし表示されたメニューより「VCN-AX 管理コンソール(M)」を選択してください。



【参考】タスクトレイのイーパーセルアイコンは、e-Parcel VCN-AX オンライン・オフライン・アイテム受信時に表示が変わります。

<アクセス方法3:Windows スタートメニューから>

または、Windows「スタート」メニュー>(すべての)プログラム>e-Parcel>VCN-AX>VCN-AX 管理コンソール を選択してください。



VCN-AX 管理コンソール メニュー

『VCN-AX管理コンソール』画面が表示されます。『VCN-AX管理コンソール』では、5つのメインメニューをご提供しております。メインメニューを選択するとその下段に、それぞれのサブメニューが表示されます。メインメニューのおもな管理機能は、下記のとおりです。詳細な操作および設定方法につきましては、次セクションよりご説明いたします。



[VCN-AX 管理コンソール メインメニューの主な機能]

- **受信トレイ**: 受信履歴照会/CSV 出力・受信済みアイテム移動・ダウンロード優先順位変更
- **送信トレイ**: 送信履歴照会/CSV 出力・再送信・配送キャンセル・アップロード優先順位変更
- **認証情報***: 電子証明書プロパティ・システムステータス表示・ログイン・新パスワード認証
- **オプション設定***: 「設定ガイド」のネットワーク設定およびオプション設定項目の確認・変更
 *管理コンソールと設定ガイドどちらからでも操作が可能です。
 参照:「VCN-AX 操作マニュアル1 インストール編」4. e-Parcel 設定ガイド(詳細設定)
- **システム設定**: 初期設定・ホットフォルダ/自動受信の情報設定・システムログ確認



まず始めに、実際に e-Parcel VCN-AX にてデータを送受信いただくための準備として、システム設定を行います。次頁2. システム設定の各セクションの説明に従い操作をお進めください。



システム設定 – ホットフォルダのセットアップ

e-Parcel VCN-AX で実際にデータを送信するために、あらかじめホットフォルダ送信情報を運用に適合するように設定する必要があります。VCN-AX のインストール完了後、次の手順でホットフォルダ送信情報(エントリー)の設定を行ってください。(必須)

ホットフォルダ エントリーの設定画面

ホットフォルダ エントリーの設定方法

- 『VCN-AX 管理コンソール』より「システム設定」を選択すると、メニュー下段にサブメニューが表示されます。「ホットフォルダ」をクリックしてください。
- ホットフォルダの情報設定ファイル『FolderConfig.csv』が、管理コンソール画面に表示されます。ここに、使用するホットフォルダエントリー(送信情報設定)をCSV形式で入力してください。※詳細参照P8-11
- エントリー入力完了後は必ず「変更を適用」ボタンをクリックし、サービスを再起動してください。サービス再起動後、変更内容が反映されます。

※参照: P24 3-1. e-Parcel VCN-AX サービス開始 - サービス再起動

ホットフォルダ情報設定(FolderConfig.csv) エントリーフォーマット

(カンマ「,」区切りテキスト(CSV)ファイル形式)

① “ホットフォルダ”, ② “送信先 ID”, ③ “件名”, ④ “メッセージ”, ⑤ “通知 E-mail”, ⑥ “アカウント ID”, ⑦ “起動アプリケーション”

- ① **ホットフォルダ名**注1) : ホットフォルダとして情報設定するフォルダ名
 ※ホットフォルダから送信するファイル/フォルダ名をワイルドカードによりフィルタリング可能注1)
- ② **送信先ユーザ ID** (複数 ID の場合、カンマ「,」で区切り、全体を“”で括る。)注2)
- ③ **件名** (省略可-ただしカンマ「,」区切りは必要。)注3)
- ④ **メッセージ本文** (省略可-ただしカンマ「,」区切りは必要。)注3) 注4)
- オプション: ⑤⑥⑦は、必要な場合のみ設定入力してください。
 (※省略可-ただし、カンマ「,」区切りは必要。)
- ⑤ **電子メール通知先 E-mail アドレス** (E-mail 通知する場合にのみ使用)注5)
- ⑥ **アカウント ID** (課金アカウント ID が複数ある場合にのみ使用)注6)
- ⑦ **アイテム送信時に起動する外部アプリケーション**注7)

ホットフォルダ エントリーの設定例

[例] “HotFolder”, “recipient@e-parcel.co.jp”, “CAD データ”, “よろしくお願いたします。”...

[例: PDF ファイルだけフィルタリングして送信する設定]

“HotFolder%*.pdf”, “address@e-parcel.co.jp”, “申込書データ”, “%FILENAME 送信します。”...

[例: 複数の宛先を設定]

“同報発信”, “address1@e-parcel.co.jp,address2@e-parcel.co.jp”, “件名”, “メッセージ本文”...

[例: メッセージ本文にファイル名を表示する設定]

“設計部宛”, “address@e-parcel.co.jp”, “件名”, “添付ファイルは %FILENAME です。”...

[例: 複数(3つ)のホットフォルダ エントリーを設定]

“HotFolder1”, “recipient1@e-parcel.co.jp”, “CAD データ”, “よろしくお願致します。”...

“取引先 A”, “recipient2@e-parcel.co.jp”, “設計データ”, “よろしくお願致します。”...

“B 支店宛”, “recipient3@e-parcel.co.jp”, “%FILENAME”, “標記の件「」よろしくお願致します。”...

[例: 電子メール通知の宛先を設定]

“Send_to_Mr_C”, “address@e-parcel.co.jp”, “件名”, “メッセージ本文”, “address@mail.co.jp”...

[例: アカウント ID を設定]

“海外拠点宛”, “overseas@e-parcel.co.jp”, “件名”, “メッセージ本文”, “CB01234567”...

[例: 外部アプリケーションを起動する設定] ※実際のエントリーは1行で入力します。

“海外拠点宛”, “overseas@e-parcel.co.jp”, “件名”, “メッセージ本文”, “address@mail.co.jp”,,
 “process.bat %FILENAME %RECIPIENT”

ホットフォルダ エントリーについての注意事項

- ・先頭に「#」のある行はコメントとして無視されます。
- ・ホットフォルダ1つに対し1行のエントリーが対応します。(エントリー数の上限は、お客様のご契約内容によりライセンスが異なります。)
- ・ホットフォルダ送信情報 (FolderConfig.csv) の記述を変更した際は、Windows サービスの再起動が必要です。
- ・宛先・件名・メッセージを都度変更する必要がある場合は、コマンドラインツール (axclient.exe) をご利用ください。
(参照:『e-Parcel VCN-AX コマンドライン仕様書』)

注1) ホットフォルダ名:

- ・ホットフォルダを作成する場所は、e-Parcel VCN-AX 動作設定(vcnax.ini)で設定した HotFolderLocation パラメータからの相対パスを指定します。**ホットフォルダは、デフォルトでは C:¥ 直下に設定しています。**

別の場所に設定したい場合は、システム設定「初期設定」(vcnax.ini)内の HotFolderLocation パラメータを変更してください。ネットワーク上のフォルダの指定も可能ですが、ネットワークドライブの割り当ては使用せず、HotFolderLocation パラメータに UNC にて記述してください。

※参照:P19 [2-3. システム設定 - 初期設定の変更](#) ②HotFolderLocation

- ・ホットフォルダから送信するファイル・フォルダ名をワイルドカードにより、フィルタリングすることができます。送信すべきファイル名のフォーマット(例えば拡張子など)が決まっていて、それ以外のファイルの誤送信を避ける等の目的で使用できます。ホットフォルダ名として「**ホットフォルダ名¥ワイルドカードを含むファイル名**」と記述してください。(ワイルドカードには「*」「?」が使用できません。詳しくは Windows のヘルプをご覧ください。)
(例: HotFolder¥*.pdf)

注2) 送信先ユーザ ID:

送信先ユーザ ID が複数の場合はカンマ「,」区切りで入力し、全体を「"”」(ダブルクォーテーション)で囲んでください。

(例: “送信先 ID1,送信先 ID2,送信先 ID3,送信先 ID4”)

注3) 件名およびメッセージ:

- ・件名およびメッセージは省略可ですがカンマは必要です。また、各要素にカンマが含まれる場合は、要素を「”」(ダブルクォーテーション)で囲んでください。また各要素にダブルクォーテーションを含みたい場合は「””」のように2つ続けて記述して要素をさらに「”」で囲んでください。送信時に自動的にひとつのダブルクォーテーションに変換されます。
- ・件名またはメッセージ本文内にキーワードとして%FILENAME と記入すると、送信時に自動的に添付ファイル/フォルダ名に変換されます。複数ファイル/フォルダの場合は各ファイル/フォルダ名がカンマで区切られた文字列に変換されますが、件名には最大半角 50 文字までしか設定できません。

注4) メッセージ:

ホットフォルダ一つに対し一行の送信情報設定が対応します。メッセージに改行を含みたい場合は、改行コードの代わりに「¶」(Shift-JIS 0x81f7)を使用して下さい。送信時に自動的に改行コードに変換されます。

注5) 電子メール通知先 E-mail アドレス:

- ・e-Parcel VCN-AX で送信したものと同一件名、メッセージを、E-mail でも通知したい場合、ホットフォルダ情報設定項目⑤に宛先 E-mail アドレスを設定してください。アドレスが複数ある場合は②と同様の書式を使用します。カンマ「,」区切りで入力し、全体を「””」(ダブルクォーテーション)で囲んでください。電子メール通知先 E-mail アドレスは、省略可ですがカンマは必要です。
- ・電子メール通知をご利用いただくには、別途、システム設定「初期設定」(vcnax.ini)画面の SMTP サーバ情報の設定も必要です。
※参照:P21 [2-3. システム設定 - 初期設定の変更](#) ⑨SMTP
- ・電子メール通知では、送信ファイル/フォルダは添付されません。また、E-mail は暗号化されませんので、重要な情報は件名・メッセージには記述しないでください。

注6) アカウント ID:

アカウント ID は必要が無い限り設定しないでください。
複数のアカウント ID (課金アカウント番号) を持ち、フォルダ毎に課金アカウントを使い分けたい場合にのみ、ホットフォルダ情報設定項目⑥にアカウント ID を設定してください。(ここで設定されたアカウント ID は、オプション設定「デフォルトアカウント」で選択されているアカウント ID より優先して課金されます。)アカウント ID は省略可ですがカンマは必要です。

注7) ⑦アイテム送信時に起動する外部アプリケーション:

- ・外部アプリケーションは以下の場所に配置するか、または絶対パスで指定してください。
 - システム設定「オプション設定」画面の[ホットフォルダ配置]で指定されたディレクトリ
 - 環境変数 PATH で指定されたディレクトリ

※ホットフォルダエントリーで外部アプリケーション起動を設定している場合は、送信が実行された後に外部アプリケーションが起動し、電子メール通知設定がある場合はその後にメール送信が行われます。

- ・外部アプリケーションの指定時に以下5つのコマンドラインパラメータを使用できます。

%FILENAME 添付ファイル名(複数の場合はカンマ区切り)に置き換えられます。

%RECIPIENT 受信者の ID に置き換えられます。

%SUBJECT 件名に置き換えられます。

%CREATED 作成日時に置き換えられます。

%INTERNALID Internal ID に置き換えられます。

※「Internal ID」は、VCN-AXの動作するローカルマシン上で1送信毎に与えられる一意の整数で、送信トレイの一行に対応します。例えば、コマンドラインツール(axclient.exe)の引数として与え、該当する一つの送信アイテムの履歴情報(ステータスなど)取得に活用できます。参照: 『e-Parcel VCN-AX2.0コマンドライン仕様書』

続きまして...

データ受信時の自動化に関する、自動受信エントリーの設定をします。

[2-2. システム設定-自動受信のセットアップ](#)へお進みください。

2

システム設定 – 自動受信のセットアップ

e-Parcel VCN-AX では、実際に送信されたデータの受信を自動化するために、受信時の動作に関する情報を、あらかじめ運用に適合するように設定する必要があります。VCN-AX のインストール完了後、データ受信時に自動化が動作するよう受信情報(エントリー)の設定を、次の手順で行ってください。(必須)

自動受信 エントリー設定画面

先頭に「#」のある行はコメントとして無視されます！
※デフォルトでは、自動受信エントリーの設定方法を記載しています。

自動受信エントリーの記載例 (参照 P13)
【例 1】上位のエントリーが優先して動作します。
 ①送信ユーザ ID: sender@e-parcel.co.jp
 ②件名: Order
 ③移動先フォルダ: Receive Folder1
 ※①②は自動受信条件の設定です。(省略可)
 このケースでは、①②両方の条件に合致した受信アイテムに対してのみ自動受信が動作します。

【例 2】
 ①送信ユーザ ID: 条件設定なし
 ②件名: 条件設定なし
 ③移動先フォルダ: Receive Folder2
 ※①②の自動受信条件の設定を省略します。
 このケースでは、上位エントリー【例 1】に合致しなかったすべての受信アイテムに対し自動受信が動作し、③ヘッダが移動されます。

自動受信 エントリーの設定方法

- 『VCN-AX 管理コンソール』より「システム設定」を選択すると、メニュー下段にサブメニューが表示されます。「自動受信」をクリックしてください。
- 自動受信の情報設定ファイル『ReceiveAuto.csv』が、管理コンソール画面に表示されます。ここに、使用する自動受信エントリー(受信情報設定)をCSV形式で入力してください。※詳細参照P13-16
- エントリー入力完了後は必ず**変更を適用**ボタンをクリックし、サービスを再起動してください。**サービス再起動後、変更内容が反映されます。**

※参照: P24 3-1. e-Parcel VCN-AX サービス開始 – サービス再起動

自動受信 情報設定(ReceiveAuto.csv) エントリーフォーマット

(カンマ「,」区切りテキスト(CSV)ファイル形式)

① “送信ユーザ ID”, “件名”, “移動先フォルダ”, “起動アプリケーション”, “通知 E-mail”, “上書き設定”
(自動受信条件) (許可/不許可)

- ① 自動化が動作する条件設定: 送信ユーザ ID 注1)
(省略可-ただしカンマ「,」区切りは必要。)
 - ② 自動化が動作する条件設定: 件名に含まれるキーワード 注1)
(省略可-ただしカンマ「,」区切りは必要。)
 - ③ 受信した添付ファイル/フォルダを移動する先のフォルダ名 (**必須**) 注2) 注5)
- ※オプション: ④⑤⑥は、必要な場合のみ、設定入力してください。
- ④ アイテム受信時に起動するアプリケーション (オプション) 注3)
(省略可-ただしカンマ「,」区切りは必要。)
 - ⑤ 受信通知メールを送信する際の宛先メールアドレス (オプション) 注4)
(省略可-ただしカンマ「,」区切りは必要。E-mail 通知する場合にのみ使用)
 - ⑥ このエントリーに限りデータ移動時の上書き許可(1)/不許可(0) (オプション) 注5)
(省略可-ただしカンマ「,」区切りは必要。設定時は、オプション設定より優先し動作する。省略時は、オプション設定に従う。)※参照: P38 [7. オプション設定](#)
(※Ver.2.0.2012 よりエントリー毎の上書き個別設定に対応しました。)

自動受信 エントリーの設定例

[例: すべての受信アイテムを指定場所に移動する設定]

„Common Folder” „,

[例: 特定の送信者からのアイテムを指定場所に移動する設定]

“sender@e-parcel.co.jp” „受信フォルダ from S” „,

[例: 件名に特定のキーワードが含まれる場合にアイテムを指定場所に移動する設定]

„SERIAL NUMBER:” „Folder_SN” „,

[例: 特定の送信者かつ件名キーワードに対しアイテムを指定場所に移動する設定]

“sender@e-parcel.co.jp” „SERIAL NUMBER:” „Work” „,

[例: 特定の送信者からのアイテムに対しバッチファイルを起動する設定]

“sender@e-parcel.co.jp” „Work” „process.bat %FILENAME %SENDER” „,

[例: 受信メール通知を行う場合の設定]

„Common Folder” „address1@mail.co.jp” „,

[例: 複数(3つ)の自動受信エントリーを設定] ※上から順に評価され、一致した時点で動作します。

„発注書” „Folder_Order” „process.bat %FILENAME %SENDER” „,
“senderC@e-parcel.co.jp” „設計” „Folder_C 設計” „design_dpt@mail.co.jp” „,
„Common Folder” „,

[例: すべての受信アイテムを指定場所に移動しオプション設定に関わらず上書き許可する設定]

※オプション設定-上書きが“No”の場合でも、エントリーの設定値が優先され、上書きします。
„Common Folder” „1

自動受信 エントリーについての注意事項

- ・先頭に「#」のある行はコメントとして無視されます。
- ・複数のエントリーがある場合は上から順に評価されます。一致した時点で動作し以降のエントリーは無視されます。(エントリー数の上限は、お客様のご契約内容によりライセンスが異なります。)
- ・自動受信情報(ReceiveAuto.csv)の記述を変更した際は、サービスの再起動が必要です。

注1) 自動化が動作する「送信者ユーザ ID」「件名に含まれるキーワード」:

- ・送信者のユーザ ID は「完全一致」、件名はキーワードが「含まれている」場合に自動化が動作します。
- ・ユーザ ID、件名キーワードの両方が指定された場合は、両方が成立した時 (“ユーザ ID” AND “件名キーワード”) に動作します。両方とも空欄の場合は、すべての受信アイテムに対し動作します。
- ・件名キーワードは、全半角・大小文字を区別して動作します。

注2) 受信した添付ファイル/フォルダを移動する先のフォルダ名:

- ・自動受信フォルダを作成する場所は、e-Parcel VCN-AX 動作設定(vcnax.ini)で設定した ReceiveAutoLocation パラメータからの相対パス、または絶対パスを指定します。

自動受信フォルダは、デフォルトでは C:* 直下に設定しています。別の場所に設定したい場合は、システム設定「初期設定」(vcnax.ini)内の ReceiveAutoLocation パラメータを変更してください。ネットワーク上のフォルダの指定も可能ですが、ネットワークドライブの割り当ては使用せず、ReceiveAutoLocation パラメータに UNC にて記述してください。

※参照:P19 [2-3. システム設定 - 初期設定の変更](#) ③ReceiveAutoLocation

- ・「移動時ファイル上書き」設定については、注5)を参照ください。

注3) アイテム受信時に起動するアプリケーション:

- ・外部アプリケーションは以下の場所に配置するか、または絶対パスで指定してください。
 - システム設定「初期設定」(vcnax.ini)画面の ReceiveAutoLocation パラメータ設定で指定されたディレクトリ
 - 環境変数 PATH で指定されたディレクトリ

- ・外部アプリケーションの指定時に以下6つのコマンドラインパラメータを使用できます。

%FILENAME 添付ファイル名(添付が1つの場合)または添付ファイルが保存されている親フォルダ(添付が複数の場合)に置き換えられます。

%SENDER 送信者の ID に置き換えられます。

%SUBJECT 件名に置き換えられます。

%PARCELID アイテム ID に置き換えられます。

%CREATED 作成日時に置き換えられます。

%INTERNALID Internal ID に置き換えられます。

※「Internal ID」は、VCN-AXの動作するローカルマシン上で1受信毎に与えられる一意の整数で、受信トレイの一行に対応します。例えば、コマンドラインツール(axclient.exe)の引数として与え、該当する一つの受信アイテムの履歴情報(ステータスなど)取得に活用できます。参照: 『e-Parcel VCN-AXコマンドライン仕様書』

注4) 受信通知メール宛先 E-mail アドレス:

- ・e-Parcel VCN-AX で受信したものと同一件名、メッセージを、電子メールで通知したい場合、自動受信エントリーへ宛先 E-mail アドレスを設定してください。アドレスが複数ある場合は、カンマ「,」区切りで入力し、全体を「"”(ダブルクォーテーション)で囲んでください。通知メール先 E-mail アドレスは、省略可ですがカンマは必要です。

- ・システム設定「初期設定」(vcnax.ini)画面の SMTP サーバ情報パラメータ Host, Port, (認証が必要な場合 UserID, Password)の設定も必要です。受信通知メールでは、送信者名には“e-Parcel 受信通知”、送信者アドレスには“送信者ユーザ ID”が自動的にセットされ E-mail が送信されます。

※参照: P21 [2-3. システム設定 - 初期設定の変更](#) ⑨SMTP

- ・受信通知メールでは、受信されたファイル/フォルダは添付されません。また、E-mail は暗号化されません。

注5) 移動時の上書き設定:・すべてのエントリーへ共通の上書き設定→オプション設定 (P37)

オプション設定「移動時ファイル上書き」が「Yes (デフォルト)」では、移動先のファイル・フォルダは削除せず、同一名のファイル(相対パスも同じもの)があれば、上書きされます。エラーとしたい場合はシステム設定「オプション設定」画面で、「移動時ファイル上書き」を「No」に設定してください。移動先に一つでも同一名のファイル(相対パスも同じもの)があれば、エラーとなり全てのファイル・フォルダは移動されません。(ステータスは「受信済み」となります。管理コンソール画面よりファイル・フォルダは手動で移動 (P28) が可能です。)

※参照:P38 7. オプション設定

・エントリー毎に上書きを個別設定(優先)→自動受信エントリー

(※Ver.2.0.2012よりエントリー毎の上書き個別設定に対応しました。)

エントリー毎に、ファイル移動時の上書き許可/不許可を個別設定できます。

「0」: 上書きしない

「1」: 上書きする

設定した場合は、オプション設定に関わらず、自動受信エントリーの設定値が優先されます。

未設定の場合は、オプション設定で指定された値に従います。

※自動受信エントリーの上書き個別設定は、ファイル・フォルダの自動受信時の移動に際してのみ影響する設定となります。「受信済み」アイテムを手動で移動させる場合には影響しません。例えば、自動受信エントリー「上書きしない(0)」設定で、自動受信時に移動されなかった「受信済み」の添付ファイル・フォルダを、後で管理コンソール画面より手動で移動させる (P29) 場合には影響を受けません。

※ ホットフォルダや自動受信フォルダを作成する場所(親フォルダ)や“受信通知メールの設定”など、システム設定「初期設定」画面の変更が必要な場合は、P17 2-3. システム設定 - 初期設定の変更へお進みください。

※ なお、e-Parcel VCN-AXにて実際にデータを送受信する動作については、次セクション P25 3-2. データ送受信動作の解説にて詳しくご説明いたします。ご参考ください。



システム設定 - 初期設定の変更

「システム設定」>「初期設定」画面では、必要に応じて VCN-AX の動作をお客様の運用に適合するように**初期設定の変更**を行うことができます。

“ホットフォルダを作成する場所”・“自動受信フォルダを作成する場所”・“電子メール通知の設定”・“送受信履歴保存数の指定”・“再送信可能期間の指定”など、あらかじめ初期設定がされておりますが、変更する場合はインストール完了後、次の手順にて変更操作を行ってください。(任意)

- 『VCN-AX 管理コンソール』より「システム設定」を選択すると、メニュー下段にサブメニューが表示されます。「初期設定」をクリックしてください。

受信トレイ | 送信トレイ | 認証情報 | オプション設定 | **システム設定**

初期設定 | ホットフォルダ | 自動受信 | システムログ

```
[CONFIG]
# LogLevel: ログ取得のレベルを指定します。(デフォルト:0)
# 0: 通常のログメッセージを VcnAx.log に記録
# 1: VcnAx.log に詳細なログを出力すると共に、ホットフォルダ名、ファイル名・サイズ
#   Journal.log に記録
LogLevel=1
# HotFolderLocation: ホットフォルダを作成する場所(親フォルダ)を指定します。
# (例1) ホットフォルダが C:\HotFolder の場合
#   HotFolderLocation=C:
# (例2) ホットフォルダが D:\e-Parcel\HotFolder の場合
#   HotFolderLocation=D:\e-Parcel
# (例3) ホットフォルダが \\NetworkServer\e-Parcel\HotFolder の場合
#   HotFolderLocation=\\NetworkServer\e-Parcel
# 上記のようにドライブレターを含むフォルパス、またはネットワーク上の他のサーバにある
# 場合はUNCにて設定します。空白はエラーとなります。
# 【注意】VCN-AX サービスはデフォルトでローカルPCの「SYSTEM」アカウントで動作しています。
# ファイルサーバの共有フォルダなどがドメインユーザや特定のユーザのみアクセス可能な
# 設定となっているとアクセス権が足りず正しく機能しません。ホットフォルダにはローカルPC
# の「SYSTEM」アカウントへのアクセスを許可するか、VCN-AX サービスに必要なユーザアカウント
# でサービスを起動するよう設定してください。
HotFolderLocation=C:
```

①LogLevel パラメータ

②HotFolderLocation パラメータ

先頭に「#」のある行はコメントとして無視されます！
※デフォルトでは、各パラメータの設定方法を記載しています。

変更を適用 (あわせてサービスの再起動が必要)

- 「初期設定」画面に動作設定ファイル『vcnax.ini』が表示されます。必要に応じて VCN-AX 動作設定の**パラメータ(8種)**の初期設定とSMTP・SSLサーバの設定を、運用に適合するよう変更してください。変更完了後は、画面下 **変更を適用** ボタンをクリックし、必ずサービスを再起動し変更内容を反映させてください。

※参照: P24 3-1. e-Parcel VCN-AX サービス開始 - サービス再起動

- ①**LogLevel**パラメータ: 送信ログの作成
- ②**HotFolderLocation**パラメータ: ホットフォルダ作成場所の指定
- ③**ReceiveAutoLocation**パラメータ: 自動受信フォルダ作成場所の指定
- ④**MaxParcelList**パラメータ: 送受信履歴保存数上限の指定
- ⑤**ResendPeriod**パラメータ: 再送信可能期間の指定
- ⑥**RemoteAccess** パラメータ: リモートPCから管理コンソールへアクセス許可
- ⑦**AuthorizationLevel** パラメータ: VCN-AX インターフェイスへアクセス時の認証の有無
- ⑧**ListenPort** パラメータ: VCN-AX インターフェイスのTCPポート
- ⑨**SMTPサーバ設定セクション**: 電子メール通知機能を使用する場合に設定
- ⑩**SSLサーバ設定セクション**: SSLを有効にする場合に設定

[VCN-AX 動作設定(vcnax.ini)パラメータ]

①<LogLevelパラメータ: 送信ログの作成>

LogLevel: ログ取得のレベルを指定します。(デフォルト: 0)

LogLevel=0

0: 通常のログメッセージを vcnax.log に記録

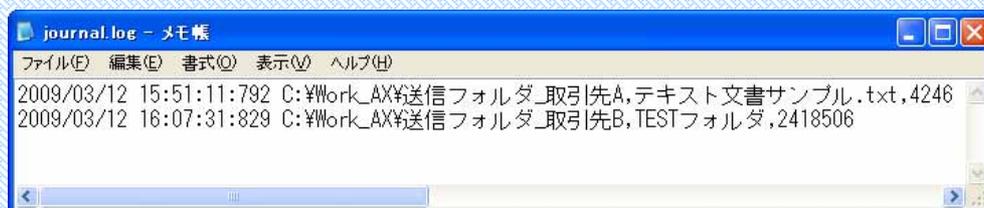
1: vcnax.logに詳細なログを出力すると共に、ホットフォルダからの送信アイテムについて、送信したホットフォルダ名・ファイル名・サイズ(B)などをjournal.logに記録

[vcnax.log] ※参照:P23 [2-4. システム設定 - システムログ](#)



[journal.log]

e-Parcel VCN-AXでは、設定によってホットフォルダ送信ログ(journal.log)を作成することができます。送信ログを作成することによって、複数のホットフォルダを作成した場合、「いつ」、「どのホットフォルダ」に「何というファイル(フォルダ)」が「何バイトのデータ(容量)」としてコピー(移動)されe-Parcelで送信されたかが判ります。これによって、例えば、取引先ごとにホットフォルダを分けた場合、取引先別の送信容量が把握できるようになります。



[パラメータ変更操作手順]

- LogLevelパラメータの設定値を LogLevel =1にして **変更を適用** ボタンをクリックしてください。(デフォルトではLogLevel =0)
- e-Parcel VCN-AXサービスを再起動してください。
(参照:P24 [3-1. e-Parcel VCN-AXサービス開始-サービス再起動](#))
- 実際にホットフォルダを使用し、送信が完了したら、インストール ディレクトリ(デフォルトC:¥Program Files¥e-Parcel¥VCN-AX)へアクセスしてください。
- “journal.log” ファイル が作成されていますので開いてください。送信ログがCSV形式([日付],[ホットフォルダ名],[送信ファイルもしくはフォルダ名],[バイト数(B)])で記録されています。

②<HotFolderLocationパラメータ: ホットフォルダを作成する場所の指定>

HotFolderLocation: ホットフォルダを作成する場所(親フォルダ)を指定します。

(デフォルト: C:)

HotFolderLocation=C:

「HotFolderLocation」の設定により、システム設定「ホットフォルダ」メニューから設定 (FolderConfig.csv) するホットフォルダの場所を指定します。デフォルトでは C: が設定されていますが、削除するとエラーとなります。

下記のようにドライブレターを含むフルパス、またはネットワーク上の他のサーバにある場合はUNCにて設定します。空白はエラーとなります。

※VCN-AXサービスはデフォルトでローカルPCの「SYSTEM」アカウントで動作しています。ファイルサーバの共有フォルダなどがドメインユーザや特定のユーザのみアクセス可能な設定となっているとアクセス権が足りず正しく機能しません。ホットフォルダにはローカルPCの「SYSTEM」アカウントへのアクセスを許可するか、VCN-AXサービスを必要なユーザアカウントでサービスを起動するよう設定してください。

[例 1]ホットフォルダが C:¥HotFolder の場合

HotFolderLocation=C:

[例 2]ホットフォルダが D:¥e-Parcel¥HotFolder の場合

HotFolderLocation=D:¥e-Parcel

[例 3]ホットフォルダが ¥¥NetworkServer¥e-Parcel¥HotFolder の場合

HotFolderLocation=¥¥NetworkServer¥e-Parcel

③<ReceiveAutoLocation パラメータ: 自動受信フォルダ作成場所の指定>

ReceiveAutoLocation: 受信アイテムの移動先フォルダの存在する場所(親フォルダ)を指定します。書式は HotFolderLocation パラメータと同様です。

(デフォルト: C:)

ReceiveAutoLocation C:

④<MaxParcelList パラメータ: 送受信履歴保存数上限の指定>

送受信トレイ内の各エントリー数の上限を設定します。(デフォルト: 10000 件)

MaxParcelList =10000

上限値が 0(ゼロ)に設定されていると制限されません。1以上に設定すると送受信トレイ内のそれぞれのエントリー数が上限を超えた時に、日付の古いものから削除されます。使用するPC(サーバ)のパフォーマンスにも依りますが、一度に数千~数万件を超えるエントリーを表示しようとすると表示レスポンスが実用的でなくなる場合もありますので、適宜上限を設定して運用してください。

⑤ <ResendPeriod パラメータ: 再送信可能期間の指定>

再送信が可能な期間を設定します。(デフォルト: 14 日)

ResendPeriod =14

送信日から設定の期間内であれば、同一の宛先に同一のファイルを再送信できます。再送信機能を使用すると送信後も添付ファイル/フォルダが削除されずに保存されますので、ディスクの空き容量にご注意ください。

0(ゼロ)に設定されていると、再送信機能が停止します。

※「再送信」機能を有効にするためには、オプション設定で「再送信を使用する」(デフォルト: Yes)が選択されている必要があります。参照:P38 [7. オプション設定](#)

⑥ <RemoteAccess パラメータ: リモート PC から管理コンソールへアクセス許可>

リモートPCから「VCN-AX 管理コンソール」画面へのアクセスを許可します。

(デフォルト: 0)

RemoteAccess =0

0: ローカルアクセスのみ許可(デフォルト)

1: リモートアクセスを許可

リモートアクセスを許可する場合、別途、Windows ファイアウォール等でTCP/9980ポートへのアクセス許可設定が必要となる場合があります。

※マネジメントコンソール画面へのアクセスは、暗号化されていません。また不正なアクセスを回避するため、次の AuthorizationLevel パラメータ設定の併用を検討してください。

⑦ <AuthorizationLevel パラメータ:

VCN-AX インターフェイスへアクセス時の認証の有無>

「認証が必要」に設定すると、マネジメントコンソール画面を開くときや、VCN-AX APIを使用する際に e-Parcel ユーザ ID、パスワードによる基本認証またはダイジェスト認証を設定する必要があります。(デフォルト: 0)

AuthorizationLevel =0

0: 認証不要(デフォルト)

1: システム設定ページへのアクセスに際し認証が必要

2: 全ページへのアクセスに際し認証が必要

⑧ <ListenPort パラメータ: VCN-AX インタフェースの TCP ポート>

管理コンソール画面を含む VCN-AX インタフェースの TCP ポートです。

(デフォルト: TCP/9980)

ListenPort =9980

※この値を変更した際には、インストールディレクトリ(デフォルト: C:\Program Files\e-Parcel\VCN-AX)内の2つのショートカットアイコン「e-Parcel VCN-AX」(マネジメントコンソール)および「Run epMonitor」(モニタツール)のURLも同時に修正してください。

⑨<SMTP サーバ設定セクション： 電子メール通知機能>

e-Parcel VCN-AX でアイテムを送受信した際に、同一の件名、メッセージ(添付ファイル/フォルダは除く)を電子メールでも送信します。

※ホットフォルダエントリーにて送信時の通知メール設定および、自動受信エントリーにて自動受信時の通知メール設定をする場合、こちらの SMTP サーバ設定 セクションの入力が必要となります。

- Host: SMTP サーバのホスト名または IP アドレスを指定します。

Host=mail.your_company.co.jp

- Port: SMTP サーバのポート番号を指定します。(デフォルト:25)

Port=25

- UserID: SMTP サーバで認証が必要な場合の UserID を指定します。

UserID=

- Password: SMTP サーバで認証が必要な場合のパスワードを指定します。

Password=

- FromAddress: 送信通知メールの送信者(送信元)アドレスを指定します。

FromAddress=user_name@your_company.co.jp

※FromAddress は、送信時の通知メールへのみ反映します。自動受信時の通知メールの場合、自動的に「e-Parcel 送信者ユーザ ID」が通知メールの送信者アドレスとなります。

- FromName: 送信通知メールの送信者名を指定します。

FromName=送信元株式会社

※FromName は、送信時の通知メールへのみ反映します。自動受信時の通知メールの場合、自動的に「e-Parcel 受信通知」が送信者名として表示されます。

⑩ <SSL サーバ設定セクション: SSL を有効時に設定>

e-Parcel VCN-AX では、マネジメントコンソールを含む VCN-AX API に対するアクセスにおいて HTTPS(SSL3.0/TLS1.0)をサポートしております。これにより、リモートアクセスの際の安全性をより向上させることができます。

(※Ver.2.0.2009 より HTTPS(SSL3.0/TLS1.0)に対応しました。)

- ・ EnableSSL: マネジメントコンソール画面を含む VCN-AX インタフェースで SSL3.0/TLS1.0 を有効にします。(デフォルト:0)

EnableSSL=0

0: SSL 無効(HTTP プロトコルを使用)(デフォルト)

1: SSL 有効(HTTPS プロトコルを使用)

※同時に下記の SSL サーバ証明書ファイルおよび秘密鍵ファイルの設定が必要です。

※ SSL を有効にした際は、インストールディレクトリ内(デフォルト: C:\Program Files\e-Parcel\VCN-AX)の「e-Parcel VCN-AX」(マネジメントコンソール)および「Run epMonitor」(モニタツール)のショートカットアイコンの URL を、「http://～」から「https://～」へ必ず修正してください。

- ・ ServerPrivateKeyFile: サーバ秘密鍵を含むファイルを指定します。上記 EnableSSL パラメータを「1」(SSL 有効)に設定した場合は、必須です。パスフレーズ保護なしの DER(バイナリ)形式または PEM 形式のファイルをご用意ください。

ServerPrivateKeyFile=sample.key

- ・ ServerCertificateFile: サーバ証明書ファイルを指定します。上記 EnableSSL パラメータを「1」(SSL 有効)に設定した場合は、必須です。DER(バイナリ)形式または PEM 形式のファイルをご用意ください。

ServerCertificateFile=sample.cer

- ・ CACertificateFile: サーバ証明書に署名を行ったルート CA または中間 CA の証明書を指定します。本設定はオプションです。DER(バイナリ)形式または PEM 形式のファイルをご用意ください。(任意)

CACertificateFile=



ご注意 : システム設定-初期設定(vcnax.ini)でのすべての変更が終了した後、「変更を適用」ボタンをクリックし、サービスの再起動を必ず行ってください。**サービス再起動後に、変更内容が反映されます。**

P24 3-1. e-Parcel VCN-AX サービス開始 - サービス再起動

続きまして…

e-Parcel VCN-AX をご利用いただき、実際のデータ送受信を行う前に、サービスを起動・停止・再起動または送受信を行った際などに出力されるシステムログについてご説明いたします。P23 2-4. システム設定 - システムログへお進みください。

2 4

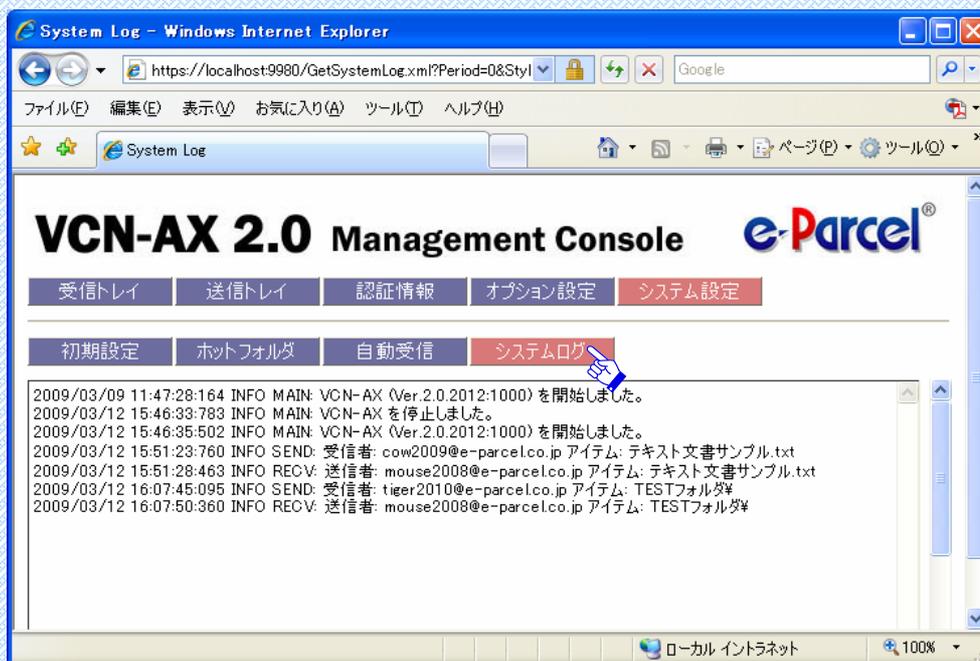
システム設定 – システムログ

e-Parcel VCN-AX では、Windows サービスの起動・停止・再起動・システムエラー発生時のほか、実際にホットフォルダ・自動受信情報設定に基づいてアイテムの送受信を行った場合などに、通常のログメッセージを vcnax.log へ出力します。出力されたログを『VCN-AX 管理コンソール』画面より確認することができます。

システム設定を変更後サービスを再起動した時など、エラーLog が出力されていないか確認作業を行ってください。また、サービスの再起動に失敗した際、「管理コンソール」画面は起動できませんので、<操作方法2>にてシステムログを確認できます。

システムログの確認方法

<操作方法1>『VCN-AX 管理コンソール』より「システム設定」を選択すると、メニュー下段にサブメニューが表示されます。「システムログ」をクリックしてください。出力されたシステムログファイル『vcnax.log』が管理コンソール画面に表示されます。



<操作方法2>実際のログは、インストールディレクトリの『vcnax.log』ファイルへ出力されています。(保存場所: デフォルト C:\Program Files\e-Parcel\VCN-AX)

[vcnax.log]





e-Parcel VCN-AX サービス開始 - サービス再起動

e-Parcel VCN-AX では、ホットフォルダ送信情報 (FolderConfig.csv)、自動受信情報 (ReceiveAuto.csv) のセットアップ (必須) および、必要に応じ動作設定 (vcnax.ini) の変更 (任意) を行った際、必ず e-Parcel VCN-AX サービスを再起動してください。サービス再起動後に変更内容が反映されます。

ご注意 : データの送受信中は、e-Parcel VCN-AX サービスの再起動は避けてください。データを送受信されている場合は、送受信完了後にサービスの再起動をお願いいたします。

e-Parcel VCN-AX サービス再起動方法

<操作方法1: Windows スタートメニューから> Windows「スタート」メニュー > (すべての) プログラム > e-Parcel > VCN-AX > VCN-AX サービス > **再起動** を選択してください。

注) ご利用 OS が Windows Vista/7 の場合、「再起動」メニューを右クリックし表示されたメニューより「管理者として実行(A)…」を選択してください。『ユーザーアカウント制御』画面が表示されますので、「許可(A)」を選択すると、再起動されます。

Windows スタートメニューをクリック！
すべてのプログラムから「e-Parcel」>「VCN-AX」を選択！
メニュー表示されます。

<操作方法2: タスクトレイから> または、Windows タスクトレイのイーパーセルアイコンを右クリックし、表示されたメニューより「VCN-AX サービス (V)」> **再起動** を選択してください。

注) Windows 7 の仕様上、以下のメニューは、管理者権限が必要なため、アイコンのメニューからは利用できません。
Windows スタートメニューから管理者として機能を実行してください。
- VCN-AX 設定ガイド
- VCN-AX サービス (起動・停止・再起動)

タスクトレイアイコンを右クリック！
メニュー表示されます。

<操作方法3> または、Windows「スタート」メニュー > コントロールパネル > 管理ツール > サービス > へアクセスしてください。サービス画面のリストより「e-Parcel VCN-AX」を選択した後、サービスの再起動 をしてください。(停止されていた場合は、サービスを開始します。)

クリック！



e-Parcel VCN-AX サービス開始 – データ送受信動作の解説

データ送信の解説(ホットフォルダの動作)

e-Parcel VCN-AXでは、ホットフォルダ1つに対し1行のエントリーが対応します。ここでは例として、ひとつのホットフォルダ送信情報(エントリー)を設定し、そのデータ送信動作について解説します。

※エントリー数の上限は、お客様のご契約内容により異なります。(ライセンス数が上限)

ホットフォルダの動作

1. 管理コンソールを起動し、システム設定「ホットフォルダ」(FolderConfig.csv)画面にて、次の1エントリー(ホットフォルダ送信情報)の設定を行います。
“取引先A”, “recipient@e-parcel.co.jp”, “発注データ”, “よろしくお願ひ致します。”
2. e-Parcel VCN-AXのサービスを再起動します。
3. 「ホットフォルダ」として設定したC: ドライブ直下にある“取引先A”フォルダへ送信したいファイルAとフォルダBをコピー(移動)します。
4. コピー(移動)されたファイルAとフォルダBは、“発注データ”という件名、“よろしくお願ひいたします。”というメッセージ本文に添付され、送信先ユーザID “recipient@e-parcel.co.jp”宛へ、e-Parcelサービスによって送信されます。

※送信の際、ファイルAとフォルダBは、「ホットフォルダ」として設定した“取引先A”フォルダから一旦、自動的に作成される一時フォルダへ移動されますが、送信実行後アップロードが完了した後に削除されます。

注)一時フォルダはe-Parcel VCN-AXがシステム管理していますので、手動で操作しないようお願いいたします。

[ホットフォルダ動作の補足事項]

- ・複数のホットフォルダ設定がある場合、各フォルダを数秒間隔で巡回し送信が行われます。
- ・再送信機能を有効にすると送信後も添付ファイルが削除されずに保存されますので、ディスクの空き容量にご注意ください。
※「再送信」機能を有効にするためには、オプション設定で「再送信を使用する」が選択されている必要があります。(デフォルト:Yes) 参照:P38 7. オプション設定
- ※再送信が可能な期間は、デフォルトで 14 日間です。変更する場合は、『VCN-AX管理コンソール』システム設定にて、初期設定を変更してください。ただし、履歴保存上限数を超え「送信トレイ」から削除されたアイテムの再送信はできません。参照:P19-20 2-3. システム設定 - 初期設定の変更 ④MaxParcelList⑤ResendPeriod

注)合計容量が0バイトのデータが、ホットフォルダへコピー(移動)された場合、自動的に作成される一時フォルダへ移動されますが、送信されません。なお、0バイトファイルを含む合計容量が0バイトでない(1バイト以上)データがホットフォルダへコピー(移動)された場合は、0バイトファイルを含め全てのファイル/フォルダが送受信されます。

データ受信の解説(自動受信の動作)

e-Parcel VCN-AXでは、複数の自動受信エントリーがある場合は上から順に評価されます。一致した時点で動作し以降のエントリは無視されます。ここでは例として、ひとつの自動受信情報(エントリー)を設定し、そのデータ受信動作について解説します。

※エントリー数の上限は、お客様のご契約内容により異なります。(ライセンス数が上限)

自動受信の動作

1. システム設定「自動受信」(ReceiveAuto.csv)画面で、次の1エントリー(自動受信情報)の設定を行います。
“sender@e-parcel.co.jp”、“Order”、“Common Folder”、
2. e-Parcel VCN-AXのサービスを再起動します。
3. 受信アイテムの送信者ユーザIDが“sender@e-parcel.co.jp”かつ 件名に“Order”が含まれる場合、受信時に自動受信機能が動作し、添付されたファイル/フォルダが移動先フォルダとして指定したC: ドライブ直下にある“Common Folder”へ移動されます。
4. この時、受信した添付ファイルと同名ファイルが移動先にある場合、デフォルトでは上書きされます。受信した添付フォルダと同名フォルダが移動先にある場合、同名フォルダ内の同名ファイルは上書きされます。同名フォルダ内に同名ファイルが存在しない場合は、同名フォルダ内へそのままファイルが移動されます。

[自動受信動作のワンポイントアドバイス]

自動受信情報(エントリー)を設定する場合、最終行へ“すべての受信アイテムが移動する”という条件の自動受信エントリーを加えていただくことをお勧めいたします。

(例:、“Common Folder”、)

この場合、上位のエントリー条件に合致しなかったアイテムを受信した時でも、その添付ファイル/フォルダを指定場所に移動させることができます。

e-Parcel VCN-AXにて、製品本来の目的でもありますが、お客様の業務システムを自動化し、定期的を送受信履歴を自動的にクリーンアップするよう設定し(P19 2-3. システム設定 - 初期設定の変更 ④MaxParcelList)運用する際は、例えば受信後にまだ移動していない添付ファイル/フォルダがあった場合でも、削除されるのを防止することができます。

e-Parcel VCN-AX 使用上のご注意

- ① 『VCN-AX管理コンソール』にて、システム設定「初期設定」(vcnax.ini)・「ホットフォルダ」(FolderConfig.csv)・「自動受信情報」(ReceiveAuto.csv)を変更した場合は、サービスの再起動を必ず行ってください。再起動後、変更内容が反映されます。

※参照:P24 3-1. e-Parcel VCN-AXサービス開始 - サービス再起動

- ② e-Parcel VCN-AX上の送受信トレイ履歴保存数の上限は、デフォルトで10,000件に設定されています。運用に適合するように適宜、上限値を設定することを推奨いたします。保存数上限を変更したい場合は、システム設定「初期設定」(vcnax.ini)のMaxParcelListパラメータを変更してください。

※参照:P19 2-3. システム設定 - 初期設定の変更 ④MaxParcelList

※なお、削除した過去の送受信履歴は、弊社Webサイト(URL: <http://www.e-parcel.co.jp/>) VCNログインページ/My VCNへログインいただき、送受信トレイで確認することができます。



ご注意 : VCN-CommCenter 6.0 から VCN-AX 2.0 へ移行されるお客様へ
上記2つは仕様の異なる別製品となりますので、VCN-CommCenter 6.0 から移行された場合は、VCN-AX 2.0 のホットフォルダエントリーと自動受信エントリー設定後、必ずお客様側にてデータの送受信を行い、ホットフォルダおよび自動受信の動作確認を行ってください。

4

受信トレイ

e-Parcel VCN-AX にて実際にデータを受信した場合、『VCN-AX 管理コンソール』の「受信トレイ」画面では、受信したアイテムの履歴一覧照会および各受信アイテム詳細情報を表示させることができます。また、受信アイテム履歴一覧については、詳細情報を CSV 出力することも可能です。さらに、ここでは、受信が完了していないアイテムに対して、ダウンロードの優先順位を変更する操作をすることができます。

受信トレイの表示

『VCN-AX 管理コンソール』画面より「受信トレイ」をクリックしてください。デフォルトで今日の受信アイテム一覧が表示されます。

- ・ 受信アイテム履歴の表示期間は、「表示期間」プルダウンメニューより変更できます。表示期間を選択後、[適用]ボタンをクリックし変更を反映させてください。
- ・ 履歴一覧はソートできます。送信者～作成日時(5種)のタイトルバーをクリックして履歴の表示順を変更してください。
- ・ “削除”欄の「×」をクリックすると、受信履歴が削除されます。

また、「受信トレイ」メニュー下段に2つのサブメニュー「再表示」「CSV 出力」が表示されます。

🌿 「再表示」: クリックすると、最新の表示に更新されます。

送信者	件名	ステータス	サイズ	作成日時	削除	優先
mouse2008@e-parcel.co.jp	テスト送信	受信中	11.8MB	2007/05/01 12:13:48	×	△
mouse2008@e-parcel.co.jp	テスト送信	受信中	17.8MB	2007/05/01 12:13:31	×	△
mouse2008@e-parcel.co.jp	テスト送信	移動済み	76.9KB	2007/04/26 16:04:52	×	△
mouse2008@e-parcel.co.jp	VCN AXテスト送信	移動済み	53.0KB	2007/04/24 17:38:25	×	△
mouse2008@e-parcel.co.jp	VCN AXテスト送信	受信済み	999B	2007/04/24 16:48:04	×	△
cow2009@e-parcel.co.jp	AX 受信テスト3	開封済み	816.2KB	2007/04/24 16:43:47	×	△
cow2009@e-parcel.co.jp	AX 受信テスト2	開封済み	2.6KB	2007/04/24 14:16:57	×	△
cow2009@e-parcel.co.jp	AX 受信テスト1	移動済み	2.1KB	2007/04/24 14:16:57	×	△

🌿 「CSV 出力」: クリックすると、受信アイテム履歴一覧の詳細情報を CSV 形式で出力できます。※ステータスはコードで出力されます。参照:P35 ステータスコード一覧



CSV 出力の結果は以下のフォーマットで出力されます。ファイルとして必要な場合は、適当な場所へ保存してください。

[出力フォーマット(すべての項目はダブルクォーテーションで括られて出力)]

- ① 作成日時: yyyy/mm/dd hh:mm:ss(ローカル時間)
- ② 件名
- ③ 送信者ユーザ ID
- ④ 受信者ユーザ ID(To/Cc/Bcc の区別無く、複数ならカンマ区切りで列挙)
- ⑤ アイテム名(添付ファイル/フォルダ名を最大半角 50 文字まで出力)
- ⑥ ステータス(各アイテムの配送状況をコードで出力)
※参照: 各アイテムの配送状況は P35 ステータスコード一覧をご覧ください。
- ⑦ サイズ(送信されたアイテムの容量(B))
- ⑧ アイテム ID(個々のアイテムに割り振られた固有の記号)
- ⑨ Internal ID(VCN-AX の動作するローカルマシン上で1送受信毎に与えられる一意の整数で、送受信トレイの一行に対応します。)※例えば、APIをご利用の場合に、コマンドライン(axclient.exe)の引数として与え、該当する特定の受信アイテムについて履歴情報取得・優先受信・添付データの移動等に活用できます。詳しくは、『e-Parcel VCN-AX コマンドライン仕様書』を参照ください。
- ⑩ 送受信種別(0:受信 1:送信)
- ⑪ 優先種別(0:通常 1:優先)
- ⑫ 再送信種別(0:再送信不可 1:再送信可)

[例: 出力フォーマット(実際は作成日時から再送信種別まで一行で出力)]

"2007/05/01 15:51:50","件名","cow2009@e-parcel.co.jp","mouse2008@e-parcel.co.jp",
"ファイル.ppt","210","61445","77swrobjNkZrAAAAFt04GtjFDCp6ujlvqDOz","12","1","0","1"

受信アイテム詳細情報

『VCN-AX 管理コンソール』の「受信トレイ」画面で、該当受信アイテムの[ステータス(青字)]表示部分をクリックすると、左下図のとおり「受信アイテム詳細情報」が表示されます。また、この画面では、添付データが移動されていない受信済みアイテムについて、その添付データを手動で別の場所へ移動させる(右下図)ことができます。

VCN-AX 2.0 Management Console


再表示	
アイテムID	77swrobjNkZrAAAAFt04GtjFDCp6ujlvqDOz
アイテム名	経営会議資料.ppt
作成日時	2007/05/01 15:51:50
ステータス	移動済み
送信者	cow2009@e-parcel.co.jp
受信者	TO: mouse2008@e-parcel.co.jp
サイズ	61445
件名	資料送付の件
メッセージ	添付のとおり会議資料を送付いたします。よろしくお願いたします。
アカウント	CB03210921

「受信済み」アイテムの添付データの手動移動方法
自動受信エントリーの未設定等により添付データが移動されていない「受信済み」アイテムについてその添付ファイル/フォルダを手動で移動させることができます。その場合、画面下に表示される[移動先フォルダ]欄へ保存場所(フルパス)を入力し[添付の移動]ボタンをクリックしてください。添付データが移動され、ステータス表示は「移動済み」に更新されます。

ステータス	開封済み
送信者	cow2009@e-parcel.co.jp
受信者	TO: mouse2008@e-parcel.co.jp
サイズ	61246
件名	
メッセージ	
アカウント	CB03210921
移動先フォルダ	[C:\フォルダ]

リモート PC から接続している場合のご注意
移動先フォルダは e-Parcel VCN-AX の動作しているホスト上のフォルダになります。

添付の移動

受信アイテムの優先順位の変更

『VCN-AX 管理コンソール』の「受信トレイ」画面で、未受信(ステータスが“受信済み”以前の状態)のアイテムは、“優先”欄へ「△」が表示されています。通常は受信が開始された順番で、データがダウンロードされますが、複数の未受信アイテムが存在する場合、ダウンロードの優先順位を変更することができます。

例えば、大容量のファイル受信中に、緊急のファイルを割り込んでダウンロードさせることが可能となります。

<ダウンロードの優先順位を付与したい場合>

該当アイテムの“優先”欄「△」をクリックすると「●」になり、該当アイテムが優先してダウンロードされます。

[例] ① 受信が開始した順番で2つのアイテムが受信(ダウンロード)されている。
第2番目のアイテムを先に受信したい場合、△をクリックする！

受信トレイ		送信トレイ	認証情報	オプション設定	システム設定	
再表示	CSV出力	表示期間: 最近2週間	適用	件数: 8		
送信者	件名	ステータス	サイズ	作成日時	削除	優先
mouse2008@e-parcel.co.jp	VCN AXテスト送信	受信済	11.8MB	2007/05/01 12:13:48	×	△
mouse2008@e-parcel.co.jp	VCN AXテスト送信	受信中	17.8MB	2007/05/01 12:13:31	×	△
mouse2008@e-parcel.co.jp	VCN AXテスト送信	移動済み	76.9KB	2007/04/26 16:04:52	×	

2番めに受信
クリック!

1番めに受信

1番めに受信開始!

② クリックしたアイテムは●になり、優先して受信(ダウンロード)が開始!

送信者	件名	ステータス	サイズ	作成日時	削除	優先
mouse2008@e-parcel.co.jp	VCN AXテスト送信	受信中	11.8MB	2007/05/01 12:13:48	×	●
mouse2008@e-parcel.co.jp	VCN AXテスト送信	受信中	17.8MB	2007/05/01 12:13:31	×	△
mouse2008@e-parcel.co.jp	VCN AXテスト送信	移動済み	76.9KB	2007/04/26 16:04:52	×	

2番めに受信

<複数のアイテムにダウンロードの優先順位を付与したい場合>

該当アイテムの優先順位の高い順に“優先”欄「△」をクリックしてください。「●」になり、クリックされた順番に優先してダウンロードされます。

<ダウンロードの優先を解除したい場合>

該当アイテムの“優先”欄「●」をクリックしてください。「△」に戻り、ダウンロード優先が解除されます。

5

送信トレイ

e-Parcel VCN-AXにてホットフォルダからデータを送信した場合、『VCN-AX 管理コンソール』の「送信トレイ」画面では、送信したアイテムの履歴一覧照会および各送信アイテム詳細情報・トラッキングを表示させることができます。また、送信アイテム履歴一覧については、詳細情報を CSV 出力することも可能です。さらに、ここでは、送信が完了していないアイテムに対して、アップロードの優先順位を変更する操作や、一度送信したアイテムの再送および配送キャンセル操作をすることができます。

送信トレイの表示

『VCN-AX 管理コンソール』より「送信トレイ」をクリックしてください。デフォルトで今日の送信アイテム一覧が表示されます。

- ・ 送信アイテム履歴の表示期間は、「表示期間」プルダウンメニューより変更できます。表示期間を選択し、[適用]ボタンをクリックし変更を反映させてください。
- ・ 履歴一覧はソートできます。件名～作成日時(4種)のタイトルバーをクリックして履歴の表示順を変更してください。
- ・ “削除”欄の「×」をクリックすると、送信履歴が削除されます。

また、「送信トレイ」メニュー下段に2つのサブメニュー「再表示」「CSV 出力」が表示されます。

🔄 「再表示」: クリックすると、最新の表示に更新されます。

📄 「CSV 出力」: クリックすると、送信アイテム履歴一覧の詳細情報を CSV 形式で出力できます。*ステータスはコードで出力されます。参照:P35 ステータスコード一覧



CSV 出力の結果は以下のフォーマットで出力されます。ファイルとして必要な場合は、適当な場所へ保存してください。

[出力フォーマット(すべての項目はダブルクォーテーションで括られて出力)]

- ① 作成日時: yyyy/mm/dd hh:mm:ss(ローカル時間)
- ② 件名
- ③ 送信者ユーザ ID
- ④ 受信者ユーザ ID(To/Cc/Bcc の区別無く、複数ならカンマ区切りで列挙)
- ⑤ アイテム名(添付ファイル/フォルダ名を最大半角 50 文字まで出力)
- ⑥ ステータス(各アイテムの配送状況をコードで出力)
※参照: 各アイテムの配送状況は P35 ステータスコード一覧をご覧ください。
- ⑦ サイズ(送信されたアイテムの容量(B))
- ⑧ アイテム ID(個々のアイテムに割り振られた固有の記号)
- ⑨ Internal ID(VCN-AX の動作するローカルマシン上で1送受信毎に与えられる一意の整数で、送受信トレイの一行に対応します。)※例えば、API をご利用の場合に、コマンドライン(axclient.exe)の引数として与え、該当する特定の送信アイテムについて履歴情報取得・再送信・優先送信・キャンセル・削除等に活用できます。詳しくは、『e-Parcel VCN-AX コマンドライン仕様書』を参照ください。
- ⑩ 送受信種別(0:受信 1:送信)
- ⑪ 優先種別(0:通常 1:優先)
- ⑫ 再送信種別(0:再送信不可 1:再送信可)

[例: 出力フォーマット(実際は作成日時から再送信種別まで一行で出力)]

```
"2007/05/01 15:42:07","件名","mouse2008@e-parcel.co.jp","cow2009@e-parcel.co.jp",
"ファイル.ppt","130","60928","e10e9cea-eb6d-ab4d-a7de-ddb075203d5e","72","1","0","1"
```

送信アイテム詳細情報 & トラッキング表示

送信アイテム詳細情報 ※参照:P35 Note

『VCN-AX 管理コンソール』の「送信トレイ」画面で、該当送信アイテムの[ステータス(青字)]表示部分をクリックすると、最新ステータスへ更新され、下図のとおり「送信アイテム詳細情報」が表示されます。併せて、メニュー下段に2つのサブメニュー「再送信」「配送キャンセル」が、追加表示されます。

VCN-AX 2.0 Management Console e-Parcel®

受信トレイ | 送信トレイ | 認証情報 | オプション設定 | システム設定

再表示 | 再送信 | 配送キャンセル

アイテムID	a477780b-4b2a-224a-8d69-3009321e3452
アイテム名	clockavi
作成日時	2007/05/09 15:42:04
ステータス	受信済み
送信者	mouse2008@e-parcel.co.jp
受信者	TO: cow2009@e-parcel.co.jp 受信済み
サイズ	78838
件名	設計データ
メッセージ	cow2009@e-parcel.co.jp宛に送信しました。 よろしくお願ひします。 添付ファイルはclockaviです。
アカウント	0509321 2007

トラッキング表示
[受信者]欄ステータス表示(青字)部分をクリックすると、最新トラッキングが表示されます！ここで詳しい配送状況が確認できます。

2007/05/09 15:42:05 受信待ち
2007/05/09 15:49:10 受信中
2007/05/09 15:49:10 受信済み

● **トラッキング表示** ※参照:P35 Note

「送信アイテム詳細情報」画面の「受信者」欄ステータス表示(青字)部分をクリックすると、詳しいトラッキング履歴(日時・ステータス)が表示されます。

再送信・配送キャンセル操作

● **再送信**

一度送信が完了したアイテムまたは配送キャンセル済みのアイテムについて、同内容(件名・メッセージ・添付ファイル/フォルダ)での再送信が可能です。

注)ただし、オプション設定で、「再送信を使用する」が選択されていない場合は、再送信機能は使用できません。(デフォルト:Yes) ※参照:P38 7. オプション設定

注)履歴保存上限数を超え削除されたアイテム、再送信可能期間が切れたアイテムの再送信はできません。

※参照:P19-20 2-3. システム設定 - 初期設定の変更 ④MaxParcelList⑤ResendPeriod

<操作方法1>「送信アイテム詳細情報」画面で、サブメニュー「再送信」をクリックすると、再送信が開始します。

<操作方法2>「送信トレイ」画面の履歴一覧からも、再送信の操作が可能です。

[例] ①該当アイテムの“再送”欄「◎」をクリックすると、再送信が開始します。

受信トレイ		送信トレイ		認証情報		オプション設定		システム設定	
再表示	CSV出力	表示期間:	今日	適用	件数:	4			
受信者	件名	ステータス	サイズ	作成日時	削除	優先	再送		
cow2009@e-parcel.co.jp	設計データ	受信済み	76.9KB	2007/05/09 15:42:04	×		◎		
cow2009@e-parcel.co.jp	設計データ	開封済み	33.5KB	2007/05/09 15:37:52	×		◎		
cow2009@e-parcel.co.jp	VCN AXテスト送信	受信済み	13.5KB	2007/05/09 15:31:17	×		◎		
mouse2008@e-parcel.co.jp	VCN AXテスト送信	移動済み	4.9MB	2007/05/09 15:15			◎		



再送したいアイテムをクリック!

②しばらくして「送信トレイ」画面の「再表示」をクリックし表示を更新すると、送信トレイに再送分アイテムが1エントリー追加されたことが確認できます。一度再送されたアイテム(再送元)の“再送”欄「◎」は表示されなくなります。

再送信されたアイテム									
受信者	件名	ステータス	サイズ	作成日時	削除	優先	再送		
cow2009@e-parcel.co.jp	VCN AXテスト送信	受信待ち	13.5KB	2007/05/09 16:30:57	×		◎		
cow2009@e-parcel.co.jp	設計データ	受信済み	76.9KB	2007/05/09 15:42:04	×		◎		
cow2009@e-parcel.co.jp	設計データ	開封済み	33.5KB	2007/05/09 15:37:52	×		◎		
cow2009@e-parcel.co.jp	VCN AXテスト送信	受信済み	13.5KB	2007/05/09 15:31:17	×		◎		
mouse2008@e-parcel.co.jp	VCN AXテスト送信	移動済み	4.9MB	2007/05/09 15:15			◎		

再送済みのアイテムは◎がなくなります!

● **配送キャンセル**

送受信の実行中または送信アイテムが受信済みのステータス時(受信ユーザが開封・移動する以前の状態)のみ「配送キャンセル」機能が操作可能となります。「送信アイテム詳細情報」画面で、サブメニュー「配送キャンセル」をクリックしてください。しばらくしてから、送信のキャンセルが完了すると、ステータスは“キャンセル済み”(ステータスコード:310)に更新されます。

送信アイテムの優先順位の変更

『VCN-AX 管理コンソール』の「送信トレイ」画面で、送信が未完了（ステータスが“受信待ち”以前の状態）のアイテムは、“優先”欄へ「△」が表示されています。通常は送信が開始された順番で、データがアップロードされますが、複数の送信未完了アイテムが存在する場合、アップロードの優先順位を変更することができます。

例えば、大容量のファイル送信中に、緊急のファイルを割り込んでアップロードさせることが可能となります。

<アップロードの優先順位を付与したい場合>

該当アイテムの“優先”欄「△」をクリックすると「●」になり、該当アイテムが優先してアップロードされます。

[例] ①送信が開始した順番に3つのアイテムが送信（アップロード）されている。
第3番目のアイテムを先に送信したい場合、△をクリックする！

受信者	件名	ステータス	サイズ	作成日時	削除	優先	再送
cow2009@e-parcel.co.jp	VCN AXテスト送信	待機中	17.8MB	2007/05/02 14:04:42	×	△	
cow2009@e-parcel.co.jp	VCN AXテスト送信	待機中	27.8KB	2007/05/02 14:01:54	×	△	
cow2009@e-parcel.co.jp	VCN AXテスト送信	送信中	11.8MB	2007/05/02 14:01:29	×	△	
mouse2008@e-parcel.co.jp	VCN AXテスト送信	キャンセル中	17.8MB	2007/05/02 14:01:14	×		
cow2009@e-parcel.co.jp	VCN AXテスト送信	受信待ち	59.5KB	2007/05/02 14:00:51	×		



②クリックしたアイテムは●になり、優先して送信（アップロード）が開始！

受信者	件名	ステータス	サイズ	作成日時	削除	優先	再送
cow2009@e-parcel.co.jp	VCN AXテスト送信	送信中	17.8MB	2007/05/02 14:04:42	×	●	
cow2009@e-parcel.co.jp	VCN AXテスト送信	待機中	27.8KB	2007/05/02 14:01:54	×	△	
cow2009@e-parcel.co.jp	VCN AXテスト送信	送信中	11.8MB	2007/05/02 14:01:29	×	△	

<複数のアイテムにアップロードの優先順位を付与したい場合>

該当アイテムの優先順位の高い順に“優先”欄「△」をクリックしてください。「●」になり、クリックされた順番に優先してアップロードされます。

<アップロードの優先を解除したい場合>

該当アイテムの“優先”欄「●」をクリックしてください。「△」に戻り、アップロードの優先が解除されます。

ステータスコード一覧

※送受信トレイの履歴をCSV出力した場合、または、コマンドライン(axclient.exe)を利用し履歴情報を取得した場合に、ステータスはコードで表示されます。参照:P28 4. 受信トレイ・P31 5. 送信トレイ
『e-Parcel VCN-AXコマンドライン仕様書』

コード	内容	送信履歴	受信履歴
0	未定	○	○
10	初期化中	○	
20	送信待ち	○	
30	待機中(送信)	○	
40	送信中	○	
50	確認中(送信)	○	
60	受信待ち	○	
100	待機中(受信)		○
110	受信中		○
120	確認中(受信)		○
130	受信済み	○	○
200	開封済み	○	○
210	移動済み	○	○
220	コピー済み	○	○
230	処理済み	○	○
300	キャンセル中	○	○
310	キャンセル済み	○	○
1000	確認中	○	○
1010	受信者不明	○	
1020	受信者不達	○	
1030	送信権限なし	○	
1040	受信拒否	○	
1050	期限切れ		○
1060	削除済み	○	○
1070	アイテム破損		○



Note: 送信アイテムのステータス更新(トラッキング)のタイミングは、以下のとおりです。
 ①手動にて送信トレイの該当アイテムのステータス(青字)をクリックし「送信アイテム詳細情報」を表示した時(P30-31)
 ②自動で定期的に行うポーリング時(P37 オプション設定 / ポーリング間隔(分))
 注)ただし、①②いずれの場合でも、送信日時(作成日時)から2週間を過ぎたアイテムに対してのトラッキングは行われませんので、ご注意ください。

6

認証情報

『VCN-AX 管理コンソール』の「認証情報」画面では、お客様がインストールされた e-Parcel 電子証明書のプロパティを確認することができます。表示されている内容をご確認ください。また、画面下「ログイン」ボタンは、e-Parcel サーバへ ログインパスワードを認証させる際に使用します。

VCN-AX 2.0 Management Console e-Parcel®

受信トレイ | 送信トレイ | **認証情報** | オプション設定 | システム設定

再表示

ユーザ ID	mouse2008new@e-parcel.co.jp	ユーザ認証情報* インストールされている 電子証明書のプロパティが 表示されます。
発行者	e-Parcel Corporation	
URL	www.e-parcel.ne.jp	
番地	3-4 Nibancho	
市町村名	Chiyoda-ku	
都道府県名	Tokyo 102-0084	
国識別	JP	
有効期限開始	2001 01 01 000000Z	
有効期限終了	21001 231 235959Z	
ドメイン名	ATABOK Corp. (Japan)	システムステータス 「オンライン」表示ならOK! ネットワークに接続され ログインに成功しています。 正常に e-Parcel サービスが ご利用いただけます。
プロバイダ名	vcn0001.e-parcel.ne.jp	
システム ステータス	オンライン	
ログインパスワード	<input type="password"/>	

ログイン

ログインパスワード認証方法*
パスワード変更した場合・
ログインテストをする場合など
ログインパスワードを認証させる際は、
ここにパスワードを入力し、
「ログイン」ボタンをクリック！(P36)

*「設定ガイド」からでも操作が可能です。

認証情報

「認証情報」画面では、インストールされた電子証明書のユーザ認証情報が表示されます。ここでは、設定変更することはできません。

ユーザ ID の変更等により、再度、電子証明書のインストールの必要がある場合は、「設定ガイド」を起動し、「e-Parcel 自動設定ガイド」画面にて電子証明書の自動設定を行うことができます。(参照:「VCN-AX 操作マニュアル1 インストール編」P12 e-Parcel 設定ガイド起動方法 / P10 e-Parcel 自動設定ガイド)



Note: サービスのご利用開始後に、e-Parcel 設定ガイドにて変更操作をする場合は、「VCN-AX 操作マニュアル1 インストール編」4. e-Parcel 設定ガイド(詳細設定)を参照ください。

ログインパスワードの認証

「認証情報」画面の“システムステータス”にて、ログイン状況の確認ができます。また、“ログインパスワード”および **ログイン** ボタンは、e-Parcel サーバへログインパスワードを認証させる際に使用します。ログインテスト実施の際にもご活用ください。

※「設定ガイド」からも、同様にログイン操作を行うことができます。

参照:「VCN-AX 操作マニュアル1 インストール編」4. E-Parcel 設定ガイド(詳細設定)

<システム ステータス>

“システムステータス”は、e-Parcel VCN-AX をご使用のお客様の PC・サーバがネットワークへ接続され、正常に e-Parcel サーバへログインしているかを表示しています。ログインに成功している場合は、“**オンライン**”と表示され、正常にデータを送受信いただける状態です。“**オフライン**”の場合は、サービスをご利用いただけない状態です。ネットワークおよびログイン状況を確認するため下記「ログインパスワード認証方法」手順でログインを実施ください。

<パスワードを変更した場合>

お客様がイーパーセル(株) Web サイト「VCN ログイン」ページより[User Login-My VCN]へログインし、「登録情報編集」パスワード欄で、e-Parcel サーバに保存されているパスワード変更を行った場合、お客様がご利用のソフトウェア e-Parcel VCN-AX へ新パスワードを認証させる必要があります。その場合、下記①～③手順に従い操作を行ってください。

ログインパスワード認証方法

- ① パスワードを認証させるには、「認証情報」画面の[ログインパスワード]欄へパスワードを入力してください。
- ② パスワードを入力したら[ログイン]ボタンをクリックしてください。
- ③ [システムステータス]欄へ、“オンライン”と表示されれば、ログインに成功です。
ログインに失敗した場合は…[システムステータス]欄へ、“オフライン”と表示されます。
➤ 「パスワードが誤っています。パスワード…」と表示された場合、もう一度、パスワードを確認後、再入力しログインしてください。

結果内容

パスワードが誤っています。パスワードを再確認してください。

詳細メッセージ

```
TATPEngine.Login: TEpHTTPClient.Communicate: Server Authentication Failed. sresult="V3_002" UN="mouse2008@e-parcel.co.jp"
```

- 「ログインに失敗しました。ネットワークに問題…」と表示された場合、プロキシサーバの設定をされたお客様は、御社ネットワーク管理者へプロキシサーバのプロキシホスト名・ポート番号を確認し、ネットワーク設定を再度正しく行ってください。

結果内容

ログインに失敗しました。ネットワークに問題がある可能性があります。

詳細メッセージ

```
TATPEngine.Login: TEpHTTPClient.Connect: Host not found
```

- その他ご不明なエラーメッセージが表示された場合、再度ログインできない場合などのお問合せは、イーパーセル(株)カスタマーサポート(support@e-parcel.co.jp)までお客様のユーザ ID をお知らせのうえ E-mail にてご連絡ください。

7

オプション設定

『VCN-AX 管理コンソール』の「オプション設定」画面では、お客様の利用環境に応じてネットワーク設定・ネットワークトラフィック管理および送受信ファイルの管理等の操作を行います。なお、表示される項目は、「設定ガイド」のネットワーク設定・オプション設定と同じです。こちらの『VCN-AX 管理コンソール』からでも、設定内容を変更することが可能です。変更完了後は、「変更を適用」ボタンをクリックし、変更内容を反映させてください。※「設定ガイド」からも設定操作を行うことができます。



Note: サービスのご利用開始後に、e-Parcel 設定ガイドにて変更操作をする場合は、「VCN-AX 操作マニュアル1 インストール編」4. e-Parcel 設定ガイド(詳細設定)を参照ください。

- **タイムゾーン**—お客様のご利用地域のタイムゾーンを設定してください。ご使用の PC のタイムゾーンが日本時間の場合、自動的に UTC +09:00 が初期設定されます。
(初期設定: Windows で設定されているタイムゾーン) *「設定ガイド」からでも操作が可能です。
- **ポーリング間隔(分)**—e-Parcel VCN-AX で未受信アイテムの受信などを、e-Parcel サーバへチェックする間隔を分単位で設定します。ネットワークの帯域幅がかなり制限されている場合、高い数値(例えば 30 分間隔など)で設定してください。
(初期設定: 5 分間隔)
- **ブロックサイズ(KB)**—ここでは送受信時の最大ブロックサイズをキロバイト単位で設定します。ブロックサイズがこの制限値を超えた場合、ブロックの受け入れが拒否されます。ネットワーク帯域管理上、システム管理者が送受信データのブロックサイズを制限している場合があります。この設定は、システム管理者の設定と整合する必要があります。(初期設定: 1200KB)

- **再送信を使用**—Yes を選択した場合、一度送信したアイテムを再送信することが可能となり、一定期間、添付ファイル/フォルダが保存されます。送信トレイにて、実際の再送信操作ができます。お客様のご利用状況に応じどちらかお選びください。(初期設定:Yes)
※なお、再送信が可能な期間は、デフォルトで 14 日間です。変更する場合は、システム設定にて、初期設定を“1”以上で設定変更してください。

(参照:P20 2-3. システム設定 - 初期設定の変更 ⑤ResendPeriod)

- **移動時ファイル上書き**—すべての自動受信エントリーへ共通の上書き設定
[移動時ファイル上書きが YES の場合] 移動先のファイル・フォルダは削除せず、同一名のファイル(相対パスも同じもの)があれば、上書きされます。

[移動時ファイル上書きが NO の場合] 移動先に一つでも同一名のファイル(相対パスも同じもの)があれば、エラーとなり全てのファイル・フォルダは移動されません。(ステータスは「受信済み」となります。管理コンソール画面よりファイル・フォルダは手動で移動(P29)が可能です。)

お客様のご利用状況に応じ、どちらかお選びください。(初期設定:Yes)

※エントリー毎に上書きを個別設定したい場合は、自動受信エントリーへ上書き許可/不許可の設定を行ってください。その場合は、オプション設定より優先して動作します。参照:P13・P16 2-2. システム設定 - 自動受信のセットアップ (※Ver.2.0.2012 よりエントリー毎の上書き個別設定に対応しました。)

- **自動トラッキング**—Yesを選択した場合、送信したアイテムのステータスを自動的にトラッキングします。No を選択した場合、トラッキングの更新は手動となりますので、最初のステータス表示のままとなります。手動でトラッキングする場合は、送受信トレイにて該当アイテムを選択し表示を最新のステータスに更新してください。No にすることで、トラッキングに関わるネットワークトラフィックを節減することができます。お客様のご利用状況に応じどちらかお選びください。(初期設定:Yes)

- **プロキシ ホスト名・ポート番号/(プロキシサーバ手動設定)**

手動でプロキシサーバの設定を行う場合、プロキシサーバの**ホスト名(注)**と**ポート番号**を設定してください。※「設定ガイド」のネットワーク設定にて手動設定をした場合、その内容が表示。



ご注意 :プロキシサーバを手動設定する場合、「プロキシホスト名」欄には IP アドレスもしくはサーバ名のみをご入力ください。(IE などで設定されているプロキシサーバと同じものをお使いの場合、IE でホストアドレスを確認すると[http://IP アドレス]のような形式で設定されていますが、ここでは[http://]の部分は入力しないようにしてください。

- **プロキシ ユーザ名・パスワード/(プロキシ認証)**

お客様のプロキシサーバが認証を必要としているか確認してください。必要な場合のみ、プロキシ認証に用いられる**ユーザ名(注)**と**パスワード**を入力してください。

※パスワードは、文字や数字では表示されません。「●」で表示されます。



ご注意 :NTLM 認証 (Windows ドメイン/Active Directory による認証) を使用する際、[ユーザ名]欄には下記のとおり入力してください。

Windows ドメイン(Windows2000 以前)の場合: ドメイン名¥Windows ログオンユーザ名
Active Directory(Windows2000 以降)の場合: Windows ログオンユーザ名@ドメイン名

- **デフォルトアカウント**—お客様のユーザIDが所属しているアカウントIDとアカウントの詳細情報が表示されます。複数のアカウントに所属するユーザIDの場合のみ、ここでアカウントIDを選択することができます。(アカウントIDは、通常ユーザID登録時に、自動的に弊社にて割り当てし、アイテムが送信されると所属アカウントIDへ課金されます。)

8

e-Parcel VCN-AX 手動送信プログラム 送信ダイアログ(axsend.exe)

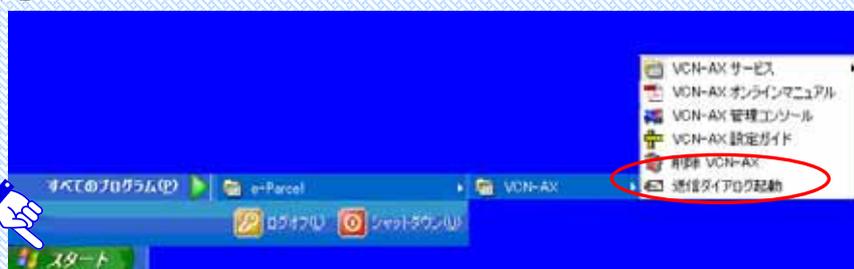
e-Parcel VCN-AX では、ホットフォルダ機能によりファイル・フォルダをを自動送信するプログラムの他に、e-Parcel VCN-AX と組み合わせてファイル・フォルダを e-Parcel 送信するプログラム(axsend.exe)を搭載しております。GUIを持つ「送信ダイアログ」を起動し、手動でデータを送信することが可能です。

送信ダイアログ起動方法

<起動方法1:Windows スタートメニューから>

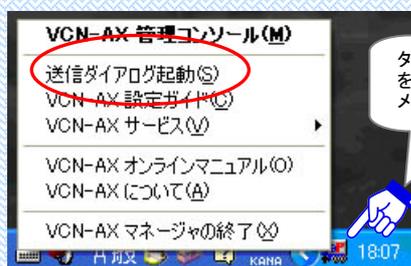
Windows「スタート」メニュー>(すべての)プログラム>e-Parcel>VCN-AX>「送信ダイアログ起動」を選択してください。

Windows スタートメニューをクリック！
すべてのプログラムから「e-Parcel>VCN-AX」を選択！メニュー表示されます。



<起動方法2:タスクトレイから>

または、Windows タスクトレイのイーパーセルアイコンを右クリックし、表示されたメニューより「送信ダイアログ起動(S)」を選択してください。



タスクトレイアイコンを右クリック！メニュー表示されます。

送信ダイアログ操作方法

※VCN-AX サービスが開始されている必要があります。

1. 「送信ダイアログ」画面が表示されます。
2. 宛先ユーザ ID(*必須)・件名・メッセージ(500文字まで)・添付ファイルまたはフォルダ(*必須)を設定してください。
3. 必須項目が設定されると、送信ボタンがアクティブになります。クリックすると送信が開始され、「送信ダイアログ」画面が閉じます。

宛先(ユーザ ID)*
添付ファイルまたは添付フォルダ*
は必須項目です。

4. 宛先(ユーザ ID)の誤りは、即時にはエラーになりません。管理コンソールにて正しく送信されているか必ず確認してください。

(参照: P31 5. 送信トレイ)

注 1) 添付ファイル・フォルダのサイズが大きく、圧縮・暗号化に5秒以上を要する場合は、5秒毎にステータスバーに進捗状況が表示されます。

注 2) 送信ボタンをクリックしてから送信が完了するまでの間、ダイアログウィンドウへの操作に対するレスポンスが低下することがあります。

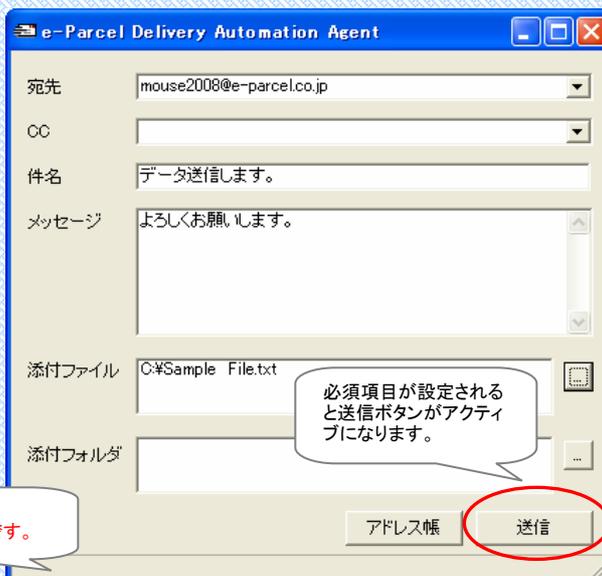
アドレス帳

<アドレス帳の使用方法>

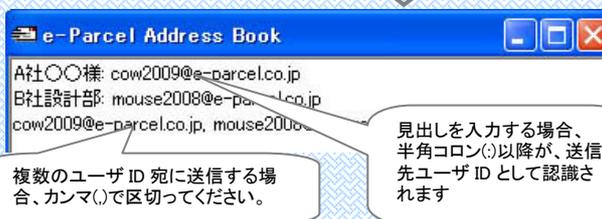
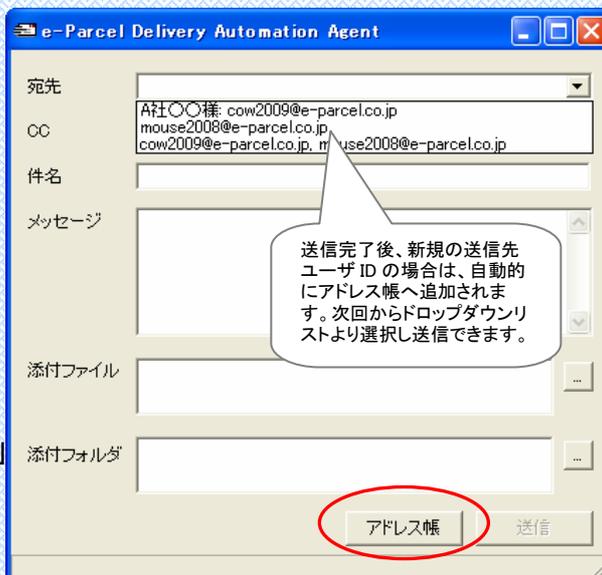
- ・送信が正常に完了すると、送信に使用された宛先(ユーザ ID)が新規の場合、自動的にアドレス帳へ追加されます。
- ・アドレス帳が作成されると、「宛先」「CC」のドロップダウンリストにエントリー(送信先のユーザ ID)が表示されるようになります。
- ・アドレス帳エントリーを削除したい場合「送信ダイアログ」画面の「宛先」「CC」欄へ削除したいエントリーを表示し、「End」「Delete」キーを順に押下してください。(カーソルを行末に移動させ Delete キーを押下するのと同様です。)

<アドレス帳の編集方法>

- ・アドレス帳を直接編集することもできます。「アドレス帳」ボタンをクリックすると簡易エディタが起動します。
- ・アドレス帳の各エントリーに半角コロン「:」が含まれる場合、コロン以降が有効です。従って各エントリーにわかりやすい見出しを付け、コロンを置いてからユーザ ID を記述することができます。
 [入力例] 取引先A: recipient-a@other-company.co.jp
見出し: 送信先ユーザ ID
- ・複数の宛先への送信時は宛先の ID をカンマ「,」で区切ってください。
 [入力例] 社内同報: AAA@my-company.co.jp, BBB@my-company.co.jp



注 1) ここがステータスバーです。



e-Parcel VCN-AX 操作マニュアル2
管理コンソール&設定 編

2007年5月 第1版
2012年12月 第15版

イーパーセル・e・パーセル・e-Parcel・
e-Parcel Logo ・電子宅配便・
イーパーセル デジタルデリバリーサービスは
イーパーセル株式会社 の登録商標です。
Copyright © 2001-20012
e-Parcel Corporation All rights reserved.

このドキュメントは、e-Parcel と e-Parcel のお客さまのみ
ご利用になれます。本マニュアルの内容は、予告なく変更
することがあります。本ドキュメントで説明している製品お
よびプログラムは、予告なく改良・変更をする場合があり
ます。

本マニュアル、または弊社の Web サイトに掲載された場
合を除き、イーパーセル株式会社の文書による同意なく
本製品およびマニュアル(使用説明書)の一部または全
部の無断転載、無断複写、翻訳、または電子媒体への変
換を禁止いたします。

Microsoft, Windows, Office は、Microsoft Corporation の商標です。

Adobe, Acrobat は、Adobe Systems Inc.の商標です。

お問い合わせ先

イーパーセル株式会社
カスタマーサポート

E-mail: support@e-parcel.co.jp

<http://www.e-parcel.co.jp/>